

ウォークラリー南コース



1. 準備する物

(1) 利用者が持参する物

- 個人 → 履き慣れたズックか長靴、軍手、帽子、雨具、水筒、虫よけスプレー
- 団体 → 携帯電話

(2) 所で準備する物

- ゼッケン、地図、解答用紙、バインダー、鉛筆

2. 所員と付き添い指導者との打ち合わせ事項

- ・ チェックポイント：本部、A分岐、Bとちの木、Dお地蔵、F白い棒、I 駐車場
- ・ 本部はチェックポイントの先生と連絡をとり、通過グループを確認する。
- ・ チェックポイントは、通過した班をチェックする。大幅に遅れた班は、ポイントを省略させたり、来た道を引き返させたりするなどして、確実な方法で早く帰す。

3. 児童に説明すること

(1) ゲームのしかた（200点満点）

- ・ 青A～Jのポイントを見つけてくる。（200点満点）
 - ◆ポイントのひらがな 各10点（10点×10ヶ所）
 - ◆ポイントのクイズ 各10点（10点×10ヶ所）
- ※ ボーナスポイントは各団体で設定 例（設定時間内に帰ってきた チームワークがよかった）

(2) 説明事項

- ・ 大まかな道（ファミリーパーク・神社・地蔵・尾根・階段等）
- ・ 迷いやすいところ
 - ◆A：Aポイントから小川に沿って山を登る
 - ◆B：とちの木を右に進み、お地蔵を目指す
 - ◆F：白い棒から右に曲がり古墳を目指す
 - ◆I：駐車場（簡易トイレあり）を右に曲がりトンネルの上を歩いてポイントJへ
 - ◆J：長い石段を登り、地蔵さんへ戻る
- ・ 迷ったら、元の道へ戻る。位置がわかったところからやり直す。
- ・ どうしても困ったら人に聞くか、近くの施設や民家に電話を借りて所へかける。（434-1908）
- ・ チームの態度が採点される。（チェックポイントの先生）
 - ◆班で協力、励まし合っているか。
 - ◆単独行動や、走っている人がいないか。
 - ◆階段の登り切ったところで友達を待つ。 など
- ・ ハチが来たら、小さくなって去るのを待つ。
- ・ ヘビがあってもあわてずに、ヘビが通り過ぎるのを待つ。

(3) 地図の見方（方向・距離・記号等）

- ・ 絵地図（表）の見方……用水、ため池、階段、建物、鉄塔、電線等
- ・ こま地図（裏）の見方…緑色の文字、黒の太い矢印、記号等
- ・ 写真地図の見方…地図ポイントとの照らし合わせ方、順序



4. その他

- ・ 低学年…班に1名指導者が一緒に付き添ってまわる。
- ・ 指導者が少数…現地でコース等を教える。迷い道に×の表示。チェックポイントの精選
- ・ 得点のしかたは団体ごとに設定してもよい。
- ・ 急な坂や石段では走ったりふざけたりして、けがをしないように気をつける。